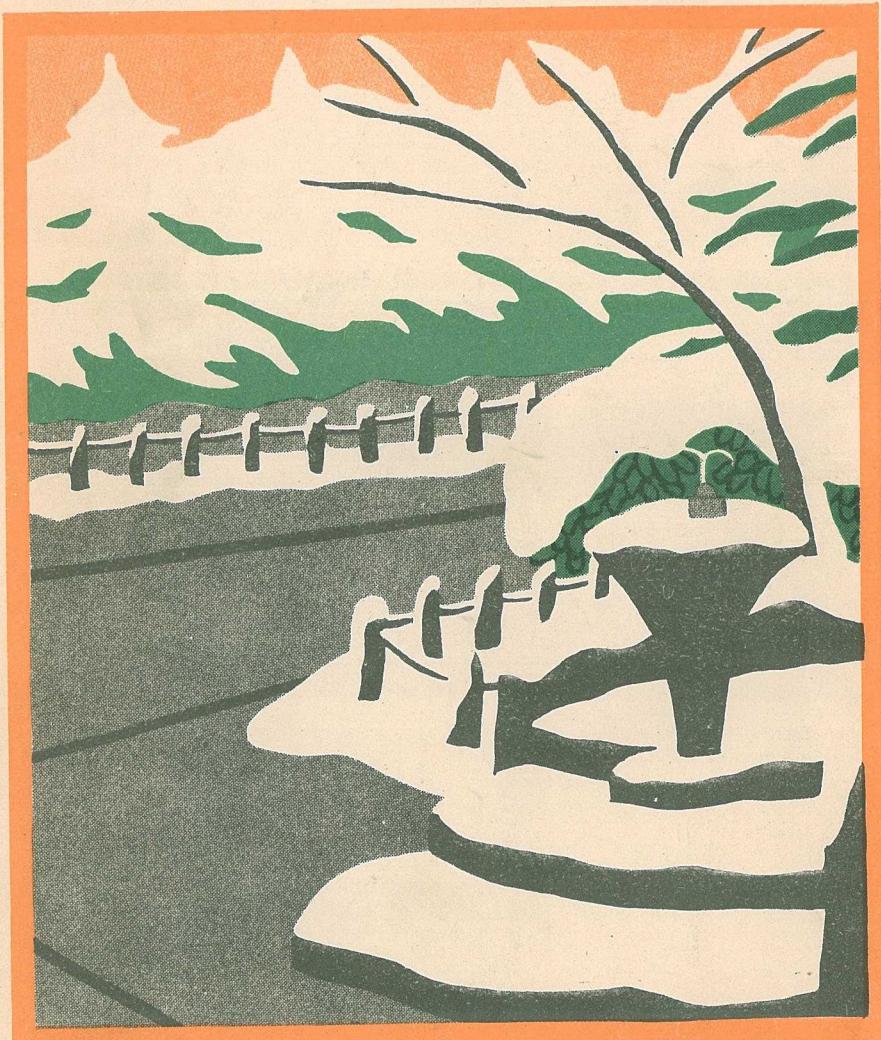


十六年十

(刷納本
一日發行)

道の改良路



第十四卷 第一號

道路改良會發行

賀

正



正賀

簡易舗装
乳剤界の明星
EMULAS

専壽特許
M
EMULAS 純国産品

優良～至廉

能力 25噸/日

日本エムラス工業所

東京府下吾嬬町西四ノ二四 電話墨田(74)一七〇九番

正賀

鋪装工事用
防水工事用

専壽特許
瀝青乳剤エマルビア

EMULVIA



東京瀝林工業所

東京市京橋区銀座西三ノ一（碌々館）
電話京橋(56)一三二五番

製造工場
横浜市鶴見区菅沢町一九五
電話鶴見一一三一一番

説明書贈呈

五事部
大倉土木株式會社

東京市京橋区銀座二丁目
電話京橋(56)自二一三〇番 至二一四九番

道路の改良 第十四卷 第一號 目次 昭和七年一月一日發行

口繪 日向國高千穂の鹿狩戸橋
君ヶ代橋ノ聖石橋(群馬縣)

卷頭言

論說

迎年の辭 水野鍊太郎(三)
自動車道路の築造に就て 中央大學教授 楠崎敏雄(二)

省營自動車を論ず 鐵道次官 久保田敬一(二)

自動車交通網の完成について 道路改良會長 中川正左(三)

道路に対する

根本計畫樹立に就ての私見 第一技術課長 前川貫一(三)

風景地に於ける道路の功罪 林學博士 田村剛(四)

外客誘致と道路の清潔 國際觀光局長 新井堯爾(四)

談叢

道路小観

衆議院議員 田川大吉郎(西)
中央大學教授 太田正孝(吾)

日本の道路計畫の一部として 東京府知事 長谷川久一(二)

道路・郵政及新聞の三位一體 東京府知事 長谷川久一(二)

道路改良費の財源を確立せよ 丹波浪人(交)

道路改良費の財源を確立せよ

道路小観

衆議院議員 田川大吉郎(西)
中央大學教授 太田正孝(吾)

自動車運送より觀たる

橋梁・道路の構造(一)

鐵道省事務官 菅健次郎(大)
經理課長 武井群嗣(充)

道路交通史上より見たる

江戸日本橋の地位

京都帝國大學 経済學部 和田篤憲(公)
經濟學博士 藤井眞透(三)

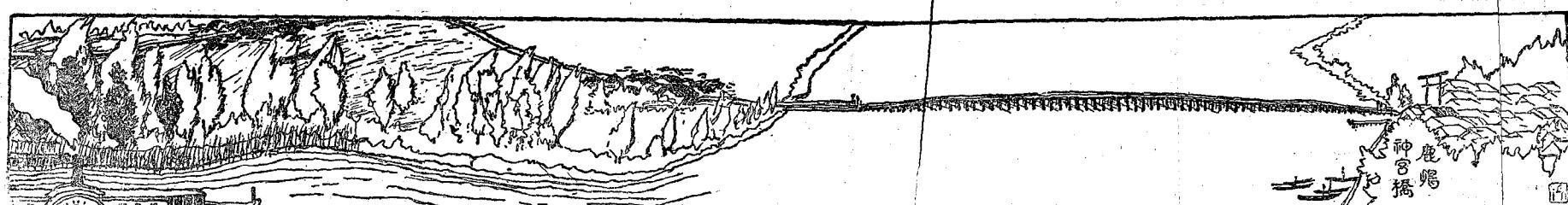
都市計畫の本質

內務技師 横木寛之(七)
內務技師 西川榮三(長)

技術

コンクリート工事の合理化 内務技師 宮本武之輔(二)
鋪裝撰定の基本に就て 内務技師 藤井眞透(二)

瀝青乳劑の二種類の區別に就て 内務技師 西川榮三(長)



連續桁の計算
結構の部材断面形と密接
鋪装道路維持修繕と

東京府の組織現状

東京府技師 折坂理五郎(一丸)
内務技師 大野 博(翌)

Footing Grillage の設計に就て

東京市技師 石川 時信(五九)
内務技師 青木 榊男(空)

鐵道省に於ける土質調査の方法

鐵道省土質
調査委員會 野坂孝忠(六八)

自轉車道の施設を提倡す

内務技師 江守保平(一三)

海外道路時事

印度の道路

内務省土木試驗所長 物部長穂(二九)

築堤の撲固

長經間鉄桁道路橋の發達

佛國ランヌ江口に於ける

大混凝土拱橋の計畫

内務技師 江守保平(一三)

史 料

東海道行脚(十三)

田中 好(二四)

英國道路物語(一)

山下定文(二五)

—道路の發達史—

紹介

東京府に於ける橋梁工事概要

東京府長來島良亮(二四)

愛知縣に於ける道路改良の現況

愛知縣土木部長宮島三郎(二六)

福岡縣に於ける

福岡縣土木課長坂本一平(二四)

失業救濟事業に就て

青森縣土木課長樹井照藏(二九)

十和田觀光道路概要

漫録 地方通信 法令

河童の寢言

川野義士(三三)

内務省土木局長の異動

路政僧(三四)

樺太・北海道方面

川野義士(三三)

東北方面・信越方面・關東方面・東海方面・關西方・中國・四國方面・九州方面

(三三)

英國道路交通法(一)

内務事務官増田甲子七(三五)

雑報

池田元本會理事の長逝
道路改良資國庫補助の決定
認可

(三三)

潮來
十二橋

叙任辭令
編輯室の内外

(三三)

正賀

正日
アス
多屋
セメント
コンクリート

日本鑄業株式會社

東京丸ノ内
電話九(内)23-1241-7

大阪中ノ島
電話本局 260-4

正賀

專賣特許 第八一六四一號
第八六四八五號

第八三六三七號
第八六六三三號

Cold Bitumen Emulsion



石川液体アスファルト
石川アスファルテック
石川セメント防木急結剤

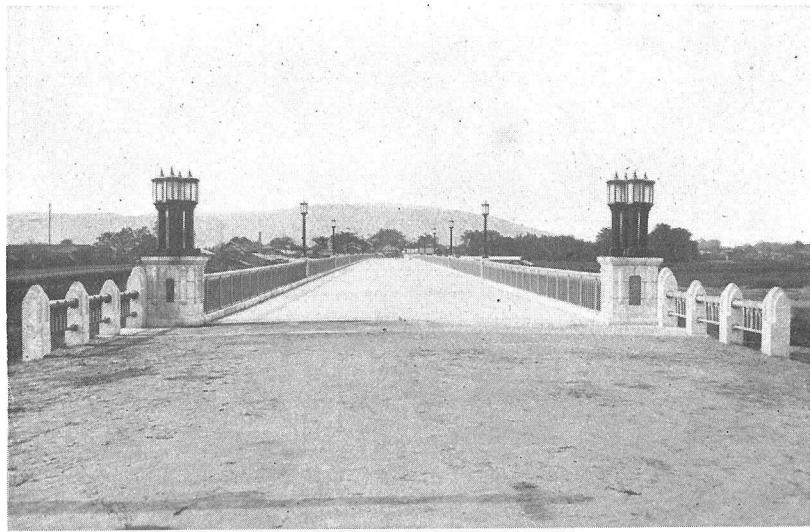
石川アスファルト鋪裝株式會社

本店 東京市京橋區銀座ニ丁目越後屋ビルティ
電話 京橋 七四〇番 七四一番 一五八三番

支店 大阪市北區絹笠町大江ビルディング
電話 北 一一一五番 三一九五番 三一六八番 二六七二番

支店 福岡市天神町不動貯金銀行ビルディング
電話 五六七七番

橋代ケ君るせ成完



幅効有厘七分六間四十百長全橋=員幅及長橋 會入村岡豐郡水碓……町役並市崎高=置位 線號十道國=名線路
-リクシコ筋鐵式脚橋岸右工打杭基礎工ト-リクシコ式力重岸左=臺橋 連十呎六六橋桁鋼=體橋 分五間四
鋪ククロブ・トルアフスア立日=面橋 尺四十二深工筒井基礎工ト-リクシコ筋鐵基九=脚橋 工筒井基礎工ト
分五間四員幅効有分八間三十五百岸左分五間一十百岸右=道路付橋 重荷衆群及車動自越八=重荷耐 时二厚裝
日十七百五數日事工延月十年六和昭工竣……月三年五和昭手着=間期事工 圓百六千六萬八拾金=費事工總

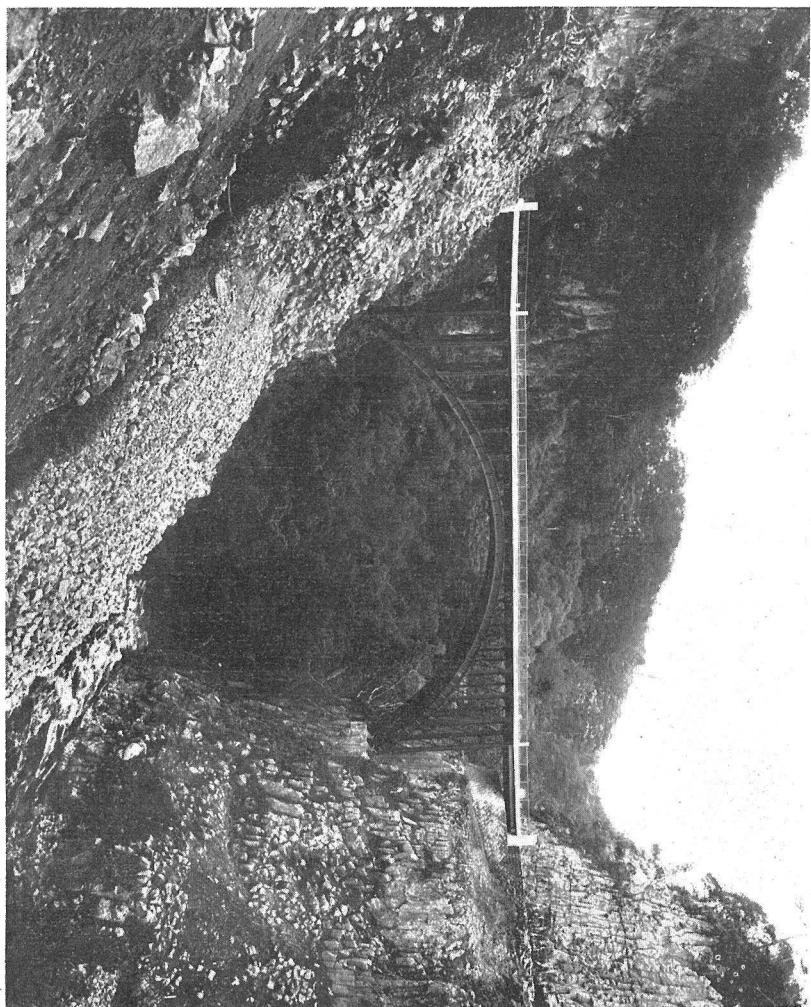
(橋舊と橋新)橋石聖るせ成完



三幅効有厘四分九間四十九長全橋=員幅及長橋 會入原石…町松若市崎高=置位 線崎高井吉道縣府=名線路
基礎工ト-リクシコ筋鐵式脚橋岸右工ト-リクシコ式力重岸左=臺橋 連七桁突鋼附桁吊=體橋 厘二分五間
ルアフスア立日=鐵橋 尺十徑尺四十二深工筒井基礎工ト-リクシコ筋鐵基六=脚橋 尺十徑尺四十二深工筒井
=費事工總 間五幅分二間二十七百長延=路道付橋 重荷衆群及車動自越六=重荷耐 时二厚裝飾ククロブ・ト
日七百四數日事工延月八年六和昭功竣…月三年五和昭手着=間期事工 圓拾八百六千七萬參拾金

(一ノ其) 橋戸狩鹿の穗千高國向日

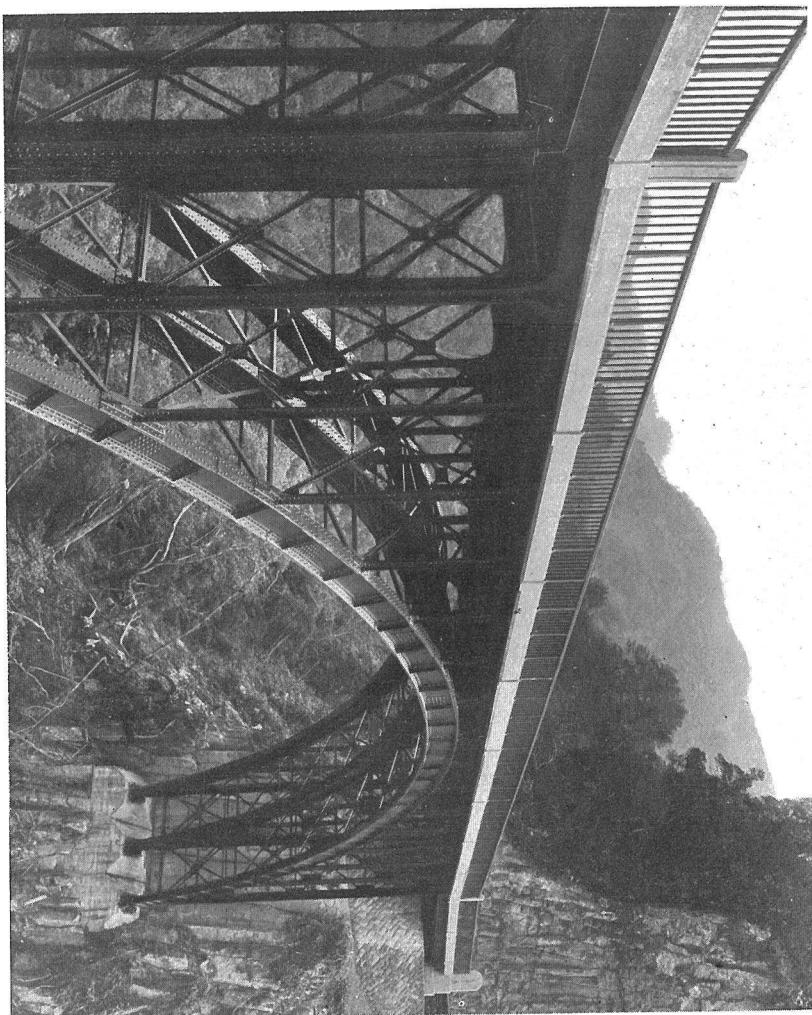
指定府県道官崎熊本線



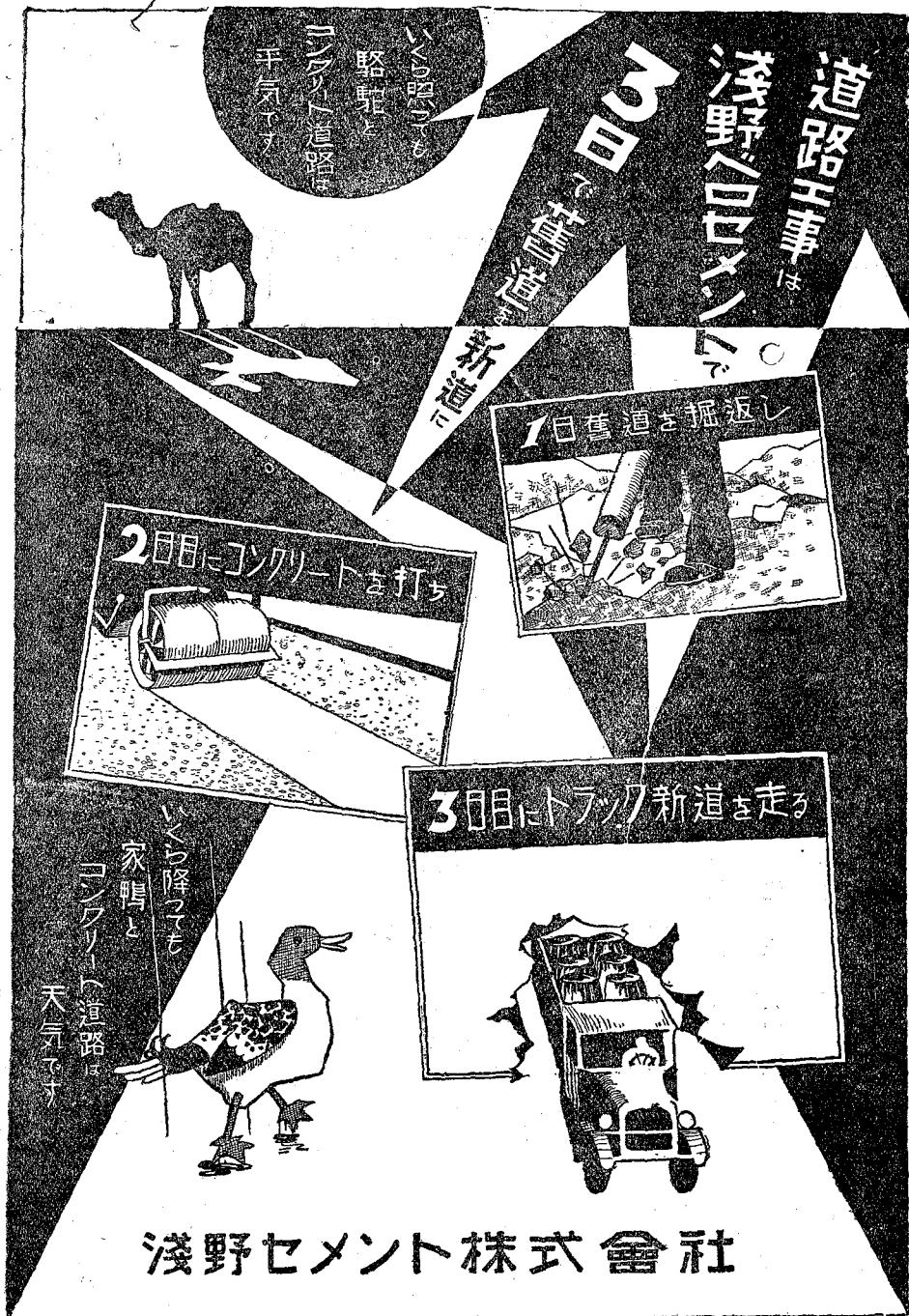
と御折七の穗千高も名に流上の川瀬ヶ五ゝる流てつ向に洋平太方東を腹中の州九
の龜山央中州九は一其 たし工竣は事工築改路道の内地戸岩るあ隣御の臨降孫天
す示をるせ橋架てり削を巖奇の壁絶は二の其てしに橋戸狩鹿のすと景背を林森大

(二) 其) 橋戸 猪鹿の穂千高國 向日

指定府縣道宮崎熊本線



正賀



謹賀新年

昭和七年一月一日

道路改良會

理事

中川正左

中島久萬吉

長岡隆一郎

桐島像一

佐上信一

彦七

同 同 同 同 理事

顧問 床次竹二郎
會長 水野鍊太郎
副會長 内田嘉吉
理事 丹羽七郎
同 山田英太郎
同 松木幹一郎

理事 同 同 同 同 同 同 同 同 同 監同

宮崎通之助 同 同 同 同 同 同 同 同 同
三邊長治 沖直道 久保田敬一 黑河内四郎 丹羽武朝 穓正太郎 前川吉造 中川貫一 橋本長穂 部物

幹事 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

清水良策 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
伊藤武彦 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
岡田井群秀 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
飯沼好敏 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
藤岡長敏 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
田中省敏 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
牧野雅樂之丞 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
佐藤利恭 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
岩澤忠一郎 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
大村清一郎 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
新居善太郎 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
都筑通好 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
小島良策 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

謹賀新年

祈會員諸彥之御健康

昭和七年一月一日

道路改良會編輯部一同

正賀

材料は自給自足の

販賣科目

ネオソリデチツト

花崗碎石及花崗砂

ミクニアスフルト、乳剤

ミクニエラスタイルト

ミクニアスフルト、フェルト

歩、車、軌、道用ブロツク

本社

東京市京橋區

京橋三丁目二ノ四

電話京橋五三三一

大阪市東區北濱

出張所

二丁目九〇番地

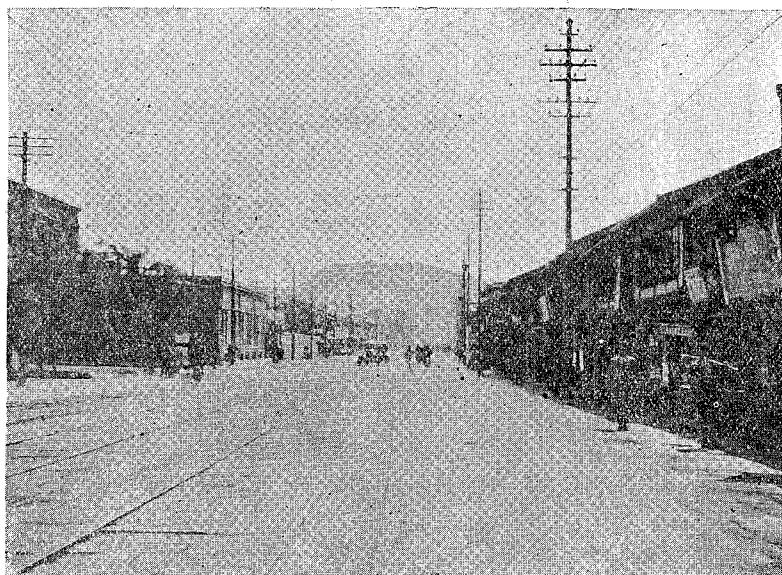
電話本局三〇四六

土木工事請負業者

日本リソチデツ株式會社

ミクニ乳剤鋪裝工事請負開始仕候

御申込次第説明書進呈

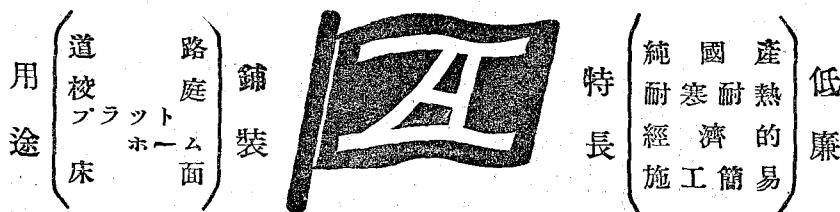


京都市丸太町前廳府町デリソチツ道石膠路

正賀

特許

アスカル



簡易鋪装

日本アスカル工業合資會社

東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三

電話青山(63)4973・8148番

工場

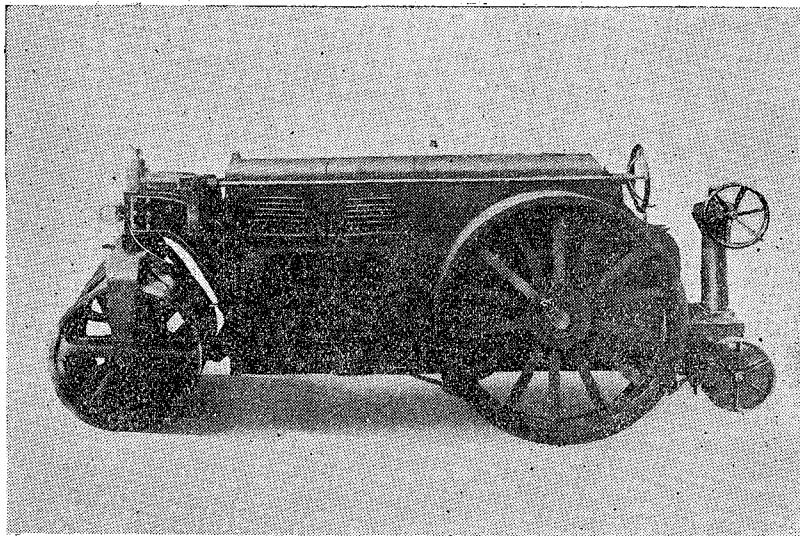
川崎市南河原六一二番地

出張所

名古屋・京都・神戸・京城

正賀

純國產 ロード・ローラー
エレファント



從來のロード・ローラーは理論上は完全なものであります
弊社のロード・ローラー・エレファルトは我等多年の道路鋪裝工事の體験から 従來のものゝ欠點を毎々補ひたる 完全な純國產品ですから能率優秀且つ經濟的であります

其他アスファルト鋪裝用具一式御用命に應じます

株式會社 高野組 機械部

事務所 東京丸ノ内三菱二十一號館

電話丸ノ内(23)一九四八

謹 賀 新 年

土木建築請負業

東京市赤坂區青山北町三丁目十七番地

株式會社間

電話青山二六二

一九〇

六〇六

二八四

組

下關市新町一丁目一二五七
福岡市庄新川通三ノ一九九九
福岡 電話下關三八五
電話福岡四五六一 所

京城府漢江通一
朝鮮支店
電話龍山四四〇・七七八

東京府荏原郡大崎町下大崎四三六
機械 東京市麹町區丸ノ内二丁目九ビル内
大坂市北區伊勢町九番地
電話建築北二八〇〇 所
名古屋市中區仲ノ町三丁目二五
電話本局一六六九 所

正

賀



セメント工業株會社

路面鋪裝用 セメント製壓搾敷瓦
室内床張用 セメント製壓搾敷瓦
其他セメント加工品各種

シートアスファルト骨材
寒水石粉末

二番通節85%過

同

下孫工場

大甕工場
合資会社
電話久慈演一三一番

茨城縣多賀郡大甕驛前(常盤線)

同

東京市外南千住町二丁目八八番地

下孫工場

電話河原子四九番

電話淺草四六一五番

寒水石粉末

製造品目

寒水石粉各種、寒水石粒各種、孔雀砂、銀星砂、黒砂、其他化粧砂各種

◎水戸市に於て嘗て天覽を賜りたる弊社の石粉末は大東京の
シートアスファルト鋪装の九〇%を供給したり
◎微粉末の製造はエヤーセバレークションに依て理想化す

東京市深川區東扇橋町二十六番地

電話本所(7)二四〇六番

謹賀新年

昭和六年六月十五日 坪装鋪年六和昭坪

我社の抱負

新しい鋪装は日々鋪から
簡易鋪装費で高級鋪装
不自惜身命圖鋪装普及

道路鋪装ど運賃で時間を節約なさい

總代理店 日本ビチュマルス鋪装工業株式會社
事務取締役 馬渡操

東京市麹町區丸ノ内三丁目十番地
電話丸ノ内(23)特長四、八二九番
四、九八二番

乳劑鋪装の祕訣
事明細書贈呈

昭和七年

道路の改良

一月一日

卷四十第一
號一第一



言頭卷

歲、こゝに改まつて昭和七年を迎へ更新の氣運、殊に本年は、犬養内閣の第一年にして、從來陰鬱な消極政策の下に統制された吾人は、新内閣が實行せむとする新政策に對して何物かを期待するからである。期待、曰く夫れは路政の改革である。我國道路政策は數年原内閣時代に創設されたものであつて、當時其の政策に對しては國民の總てが舉つて謳歌したのであつたが、爾來其の實行は財政の緊縮に祟られて豫定額の一割を支出するに不遇、言はゞ空想乃至は畫論として放任されたのである。加之政策樹立後既に十有餘年を経過し時代の趨勢に副はないものあるから相當改訂を要する。其の一例を擧ぐれば、國道改良補助の如き或は軍事偏重主義の如き到底今日容るべきものではない、宜敷文化生活の向上と産業の進展との見地に於て路上交通物體の發達に稽え改革するの必要がある、之を爲すへきは原内閣を繼承する政友會内閣の責務である。併しながら既成政黨從來の態度を見ると、一度政權を執るに至ては在野當時の聲明を弊履の如くに捨て、顧みざるの弊がある。之は獨り政友會のみならず民政黨に於ても亦同様であるが、此の如きは到底許すべきでは無い、政友會が、民政黨に道路政策なし、と言つた其の民政黨内閣に於てさえ假令名を失業救濟に籍つたにしても、二千有餘萬圓の國道改良工事を政府直轄の下に執行し、千八百萬圓の府縣道改良事業を助成した其の事に鑑み、犬養内閣は昭和七年の新政として路政を改革する當然の責務を有する。吾人は之を所望すると同時に、若し之に無關心なるに於ては、民政黨を罵した其の言葉を政友會に退還するであらうことを豫告する。